

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	和歌山県那智勝浦町	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界遺産を活かした地域活性化計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>平成28年には熊野参詣道（5ヶ所）が新たに世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に追加登録され、平成29年度は熊野那智大社が現在の場所に鎮座し1700年を迎え、さらに西国三十三所の1番札所である那智山青岸渡寺については、西国巡礼路が形成されてから1300年を迎える記念の年度となる。多くの世界遺産を抱える那智勝浦町が育んできた歴史や文化を後世へと残し、また国内外に発信するため本事業を展開する。日本における当地の世界遺産の意義を検証し、世界遺産委員会から認定された意義を踏まえつつ、那智勝浦町から国内、そして世界へ魅力を発信する。</p> <p>本事業は今後の当町における観光PR素材の中核を担い、長期的に広報し、地元住民への周知を図るとともに、当町を訪れる観光客の増加に繋げるものである。また、アンケート調査を実施し集約することで、観光客への取組を見直し、今後の誘客へと繋げる。</p>			
6 実施体制			
<p>本事業に関する全体の企画・立案・各々の補助事業に関する指導等は以下の担当が行う。</p> <p>教育委員会生涯学習課：各事業における文化財の取扱いに関する指導および調整等 観光産業課：観光業務に関する連携等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>熊野那智大社御創建1700年・那智山青岸渡寺西国三十三所草創1300年記念事業実行委員会 構成団体（那智勝浦町観光協会、宗教法人熊野那智大社、宗教法人那智山青岸渡寺、南紀勝浦温泉旅館組合、南紀くろしお商工会、那智山商店会、那智山区、熊野交通株式会社、紀州勝浦漁業協同組合、勝浦魚商協同組合、勝浦金融協会、那智勝浦町民宿組合、西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社、那智勝浦町、那智勝浦町教育委員会、熊野三山協議会、那智勝浦町立市野々小学校）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 千円	平成29年度申請額： 4,527 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>平成28年には世界遺産に新たに熊野参詣道の5ヶ所が追加登録され、平成29年には「熊野那智大社」が、平成30年には「那智山青岸渡寺」が節目の年を迎える。そこで町民の世界遺産への関心と知識の向上を図り、その魅力を「町」を挙げて世界に発信する。これを機に行政および各関係団体による連携を強化し、当町に存在する世界遺産をPRして、集客に繋げ、宿泊者ならびに日帰りで200万人の来町者を目指す。アンケート調査の実施により、あらゆる見直しを図り、リピーターの確保にも繋げる。また、世界遺産の保存と次世代への継承にも繋がり、地域活性化に寄与する。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	那智の滝ライトアップ（平成29年4月～第3土曜日）（JR・旅行会社タイアップ）		
事業概要：	神秘のパワースポット。熊野・結びから再生まで（仮題）（那智勝浦町主催）		
事業概要：	郷土芸能奉納大会（熊野那智大社）		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
特になし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	那智勝浦町役場 観光産業課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	入込客数			関連事業 :	①	
目標値 1 :	平成 27 年度 $\frac{1,390,000}{(日帰り723,000)}$ (単位) ⇒ 平成 29 年度 $\frac{2,000,000}{(日帰り1,040,000)}$ (単位)					
設定根拠 1 :	平成27年の和歌山県の入込客数伸び率が1.08倍であるが、当町の水準をこの機会にさらに上昇させる。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	来場者のシンポジウム後の世界遺産認識度			関連事業 :	①	
目標値 2 :	平成 29 年度 30 % ⇒ 平成 29 年度 60 %					
設定根拠 2 :	シンポジウムの効果を測定し、アンケートで挙げられた意見を基に来年度以降の事業に繋げる。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
%	%	%	%	%	%	%

